

№326 BASTOS, 8 de JULHO de 1956 O PROGRESSISTA No. 4576 No. 2695 SÃO PAULO A. P.

バス ト ス 週 報

第三百二十六号
昭和卅一年
七月八日
発行
DIRECTOR
KOITI MORI
REDATOR
SHION ODA
RUA PRES.
VARGAS 188
C. P. 112
BASTOS
C. P.
誌 代
一ヶ月
80¢.00

更生に非ず 厚生たる可し

バス ト ス から 転 耕 者 から 續 出 し て シ ッ
チ は パ ス ト ス に 愛 し 市 街 地 に は ペ ン ペ ン
草 が 生 え る 様 に 氣 を も ん で 何 と か 一 と
思 案 せ ね ば な る ま い と い う 氣 持 が 多 く の
人 に あ る こ と は た し か た だ バ ス ト ス 更 生
へ の 道 と か い う 風 に 今 ま で し は し は 便 は
れ て 未 た よ う に こ の 欄 で も 使 用 し た こ
と は 一 再 な り 亦 だ である
し か し 更 生 と い う 文 字 は 面 白 く な い と
い う 声 が 起 っ て い る そ う だ である よ み が
え る と い う の だ か ら 一 旦 息 を 引 取 っ た も
の が 再 び 生 き る の 意 である バ ス ト ス は
淋 れ た か 知 れ ない が ま だ 参 っ て は 居 ない
を 早 ま る な と い う わ け である 誠 に こ
ろ も な 次 第 更 生 と は 不 景 氣 な こ と 成 不
吉 な 文 字 だ であ っ た わ け だ
別 に 改 ま っ て 辨 明 す る 程 の こ と も な い
が 私 が 或 る 者 々 が 更 生 を 使 っ た 意 圖
は せ れ 程 の 悪 意 や 他 意 を 藏 し て い た わ け
で は ない バ ス ト ス が い ろ ー の 面 面 行
き 結 っ て い る よ う に 感 じ ら れ る 戦 後 表
巻 業 が 極 度 の 不 振 に 陥 っ て 毎 日 の よ う に
転 耕 車 が 数 台 バ ス ト ス から 去 っ て い っ た
頃 人 々 の 心 に は 必 ず よ う の な い 淋 し さ
と 焦 躁 の 念 を 一 掃 し て あ っ た そ の 後 幸
い に や や 落 付 いた が 再 び あ の 頃 の よ う
な 動 搖 が は し ま る の で は ない か そ う 思
う と つ い 先 日 農 業 者 懇 談 会 が 催 さ れ た
様 に 何 と か 及 ば ぬ 中 にも こ の 上 バ ス ト
ス か ら 人 が 減 っ ち ない よ う に と の 祈 念 が う
よ び か け て 見 た く な る の は バ ス ト ス を
愛 す る 者 の 情 け だ である ま い か と 思 う
の だ である そ う い う 際 に 使 っ た 更 生
である
こ れ か ら は 踏 進 バ ス ト ス と い う 風 に 景
氣 よ く や る こ と に す る 同 じ コ ー セ イ で
も 厚 生 な ら 申 し 分 ない バ ス ト ス 人 の 生
活 の 道 を 豊 かに す る 運 動 バ ス ト ス 厚 生
運 動 へ 提 言 を 向 け る こ と に し た い
不 景 氣 風 は た だ バ ス ト ス を け っ 吹 いて
い る の で なく 全 伯 士 夫 ま っ た 居 る の
だ そ う だ 転 耕 者 が 続 出 し て 嘆 く の は バ
ス ト ス だ かり で は ない 相 だ バ ス ト ス は
ま だ よ い 方 だ と 聞 いて 以 て 不 承 不 承
安 ん ぶ る こ と に す る か (幸)

ALFAIATARIA
IMPERIAL
入植祭慰霊祭合掌之図
スラリと形がよいのがマルヤマ製
ツパンにおいでの際は
一度おたちより下さい
時計と貴金属
男女腕時計
指輪
丸山洋服店



Reloaria Confiança
アリアンサ
真球首のシリ
腕輪 耳かぶり
その他楽器等
ホントにオニブス前
中村時計店



祭典は望郷か
愛郷心か
故郷に憧れを持つのは人情である、吾
々 フラジルへ 移住したものが、初期の頃
は 魚 我 夢 中 で 働 き 池 を 顧 る み ま も な か っ
た それ が 次 第 に 落 ち つ ぐ と 故 郷 の こ
と を 夢 に 見 る よ う に な る 望 郷 心 だ あり
戀 愁 だ である バ ス ト ス を 第 二 の 故 郷 と 考
え る 人 達 は バ ス ト ス を 開 拓 し 始 め た 日
を 記 念 し て 入 植 祭 と 称 し 色 々 な 備 し こ
と を 加 味 し て い わ ゆ る 祭 典 を 行 っ て 除
う け にな っ た 戦 時 中 と 戦 後 二 年 程 を 除

ほとんど欠かさずやって来たようである
 (最近に言つて昭和三年六月十八日が入
 植実行日とする本年は二十八周年に
 当り昭和四年六月十八日に第一回入植
 祭を行つてゐるから、休まず毎年つづ
 けると今年も廿七回の祭典である。し
 かし戦時中は多分中止して居たのでは
 ないか、となればはつきりしてゐる
 人に尋ねたいと思ふ。訃念日六月十
 八日であるが、祭典は一月延ばすと
 ハストスをはなれて聖市其他へ遊学し
 てゐる子弟の休暇と重つて都合がよい
 といふ親心から七月十八日と改めた
 今から六年前である、ところが日曜
 でなければ都合がわるい、たんに
 お手盛りになつて第二日曜又は中旬の
 日曜を担い前後三日を祭典に当てる様
 になつた)

身を以て同柏の苦勞をなめたもの程、こ
 の記念日は忘れがたいものであり、故郷
 への愛着と一族のつながりもつに至る。
 その内にハストス生れの少年少女が次第
 にふえ、生れ故郷をハストスとする青年
 以下を数えればハストス人口の三分の二
 は彼らの占據するところとなつてゐる。
 故郷を捨て去つた(たゞ)身々一世は心のよ
 り思つて望郷、郷愁の念からハストス
 を第二の故郷として、なつかしむが、多
 くは二世、三世代は簡単にハストスが故
 郷である。仕事の爲めに学業の爲めにハ
 ストスを去つて居るものも一年に一度の
 祭典を愉しみに彼らの故郷へ帰つてくる
 姿は、故郷をもちつ者のよろこびである。
 故郷を愛し、愛する心は郷愛をいつくしむ心
 であり肉親を敬愛する心である。故郷を
 もたぬ者は漂泊流浪の民であるともいえ
 る。國を愛し、國土を守る民の心はジレン
 ムのやうであつてはならない。吾々一世
 はいろいろなる理由で祖國をはなれたが、
 生活に不自由さなげれば故郷を生活の
 本據とするところが一番自然であり幸福で
 あるにちがひない。

入植祭は信仰に因縁のないお祭りであ
 る。吾々の生れ故郷が樹木の年輪の数を
 増すやうに、数を重ねてゆく事は生きた
 ア史としてお互いの影を刻んでおくこと
 にも通じ、ま一回の祭典に遊学の子が樂
 しんで帰着すること、温かい想出とし
 て終生その胸奥を多彩ならしめるかある
 う。入植祭の祭典は吾々にとつて、そ
 の追憶遠く祖國の山河に及び、二世にと
 つては愛郷心を培うよすがとなるであら
 う。祭典の表現は二世遠の時代に近づく
 に、たがって追つとかわつてゆくであら
 うが、その本心、故郷を愛する念がうすく
 づいてはならない。(未完)
 ○ハストスは移民の故郷移住祭、氷仙子

Sapat/aria Hayakawa
 冬晴れや
 カムルサの靴
 音一ツか 葉松
 フツのお束めでしたら
 ハヤカワエ!
 早川靴店



ハストスの生産と負債

吹本 吹本男氏談(五月二十日農談会)

西村「農業と金融」というような問題で吹
 本さんに何か御話を願います。
 吹本「御指名ですから何か断片的な経済談
 を申上げますが、エコノミクスというわ
 けではないので、何事も断片的なことは
 言へませぬ。銀行は現金を貸出す事を
 論じて居りますが、それはフラジルの経
 済難による影響であることは勿論です。
 御承知の如く現政府は、経済不況に対
 抗打倒の爲めに三十六項目に亘る政策
 を發表して居ります。この中には石油
 と重要なスロークラフを揚げて居るにも
 拘わらず、物価は毎日のように値上り
 を示し、悪性インフレーションの真先になつ
 ているやうな奇体を現象を見せ居り
 ます。最低料金の結定なども労働勤勞
 階級を一応安心させたその反面物価上
 升を煽る原因となつてゐるといわれ
 ば、六年度の政府予算は二千九百万コソト
 乃至二千四百萬コソトの赤字を計上し
 ているといわれ、之れが補填の爲めに
 増税をしなければならぬ、郵便料の大
 中の値上げ、ラジオの聴取料も非常
 な高率とし、所得税の値上も免れんと
 いわれて居ります。
 フラジルの外債は二億ドルを起して
 居りますが、毎年減ることなく、蘇入統
 制をやり、為替率変更を行つて、又は自由
 貿易を許すと、対外関係も中々容易
 ならぬ問題を孕んで居る模様でありま
 す。
 去る五月十七日法令一三七号では、一
 千二百以下アジオの變更を發表しました
 が農産物の価格維持の爲めであつたと
 います。とかく農産物が安く農産物
 生活は非常に苦しい、ところが農産物

が農家の手をはなれてマキナの手に移ると俄然高くなる。金の質の暴落で、一般世の中がこういう状態にあります。ハストスの生産物はどの位であるかと申しますと、五四、五五年度農産物は、大抵十萬コントと見られて居ります。鶏、鴨、卵五萬コント、高ニ万二千コント、鶏、鴨、七千コント、糶、鶏二千コント、西、氏、四千コント、ミ、リヨ八千コント、ノ、ントイン四千コント、米、バ、ハ、タ、其他、三、千、コ、ン、ト、が、内、訳、で、す。

一方農家の負債はといひますと、銀行及組合関係を含せ一萬八千コント、二萬コント足らずです。四百家債といつても平均四十五コントになります。その反面にはそれ程現金があるのです。その資産状態に懸念はありませぬ。大体借金はいくらを何ともないが農家でありますと、経済の言以上借金があると、追ひまわされて收拾がつかなくなるよゝうです。

先刻申したように十萬コント以上の農産物があり乍ら、尚食いにくい住みにくいのは、とうゆうわけでありませうか、十萬ポントの生産では足りなから之を二十萬コントとするか、或は、コスト(生産費)を切リつめるか、それとも農收情態を直すか、それは農業者の意志によるでしょう。どうすればよいかという結論を今ここに出すことはできませんがハストスの農業面に於ける経済状態は大体以上の通りです。もつと生産を増すようにするか、その様な方法をとり可きか、それは皆さんの御研究材料で、又研究されることは私の最も希望するところですが、今日突然で、材料がありませんでした。もし次に機会があれば、今少し確實なお話をするつもりです。(文責在記者)

函村「バストスの金欠病の正態がわかりまして大変けついなお話ししました。」

店 ゆ づ る

よい場所、しかもおとくいな様沢山の店ですが、聖市へ移転するので、御希望の方にゆつります。素人でも出来ます。くわしいことは左記へ申たかね下さい。

山本商店となり 上 杉

ひ ろ い も の
六月十八日野球場にて
ジャケツ男もの濃緑色レンソとも
預り人 週 報 社

受取人不明 手紙

受取人 渡辺登殿
差出人 熊本県八代郡龍北村麻野
山口 孝 喜

心当りの方はおいて下さい
預り人 坂本真吾

柿 し ぶ

高血圧 中風に 特効ありといわれる
柿しぶ あり

松の苗 二年もの 分譲

アルト区 西 忠 良

おしらせ

牛乳値段改正

リップル	五 針	500
一立	三 針	350
ガラファ	二 針	200
メーア、ガラファ		

以上は配達するネタンです
○配達しないところ、今までは通り、各自
とりにおいてになるところは

一立	四 針
ガラファ	三 針

右の通り七月一日より実行の申合せ
につき、何卒御承知願います

(尚この左告がおくれたのは、メ功日の都合です。あしからず申ゆるして下さい)

バストス牛乳販賣
同業者 一同

御客様
各位

市會 だより

一 去る五月十二日東ビトリオ氏市会議員
 辞職につき、後任としてP.S.Pよりジ
 ヨンバナスク氏を招集就任
 一 右に列し第一書記欠員となるので互選
 の結果西徹氏選任さる
 一 座味議員の提案により、東ビトリオ
 氏市議辞職について公文感謝状を贈る
 ことと決定(第一読会通過)
 一 議員に於て主席の議員を去職する標
 勸告し、応せざる者は罷免せしむる案
 一 ムニシロオの生産物売上税リベイト
 を五〇%にする件州議ドミンゴスロア
 チネーリ氏外七名が州議会で奮闘して
 いるのを応援願する件
 一 食料品生活必需品公定価を決定する標
 サンカロス議会議より上申書を大統領宛
 提出して居る件を支持するより依頼あ
 り、即ち当該議員も之に賛意を表し公文
 を以て大統領宛申請をなすの件(通過)
 一 フランシスコモントール代議士、マリヤ市議Dr
 五ルナンド、アウロ氏及、当市所オスワルド
 プエーノの三氏は当ムニシロオに對し常に有益
 なる指導をしてくれるので、之れ對し市会より
 感謝状を贈与する件(通過)
 一 セルビトノ、ジマスサント氏は通日ホイダ
 史人を井戸から救助した人命救助の点
 で市会より表彰する件(通過)
 一 小林議員の提案、小農家に機械化農へ
 の補助あることを報うせる件(コミソンプ
 イナナに過る)
 一 前市長時代三〇三、一〇九、三〇の使途経解
 なく支払、帳簿整理上現市長当惑し現
 市会に承諾を求む(承認)
 一 州道がバストスを通過する場合、道路の
 両側を整理する法、規り、市長より市会
 へ提出する件(第一読会通過)
 一 六月十九日より七月十五日迄 及
 十二月廿日より一月二十日迄
 市会は休暇となる
 一 但し緊急を要する事故あつば特別市会
 を開くことが出来る
 一 市会内の総制、議長副議長第一書記
 の選挙は十二月十九日とし、在任一ケ年
 一 右はカマラにて規約し六月十四日より発効

短期トラトル講習について

バストスで短期トラトル講習の申請を
 した処、目下バクル、ピラス、スナガ、衆学
 校以外では、やうぬことになつてゐる。リ
 ンス、マリリヤで試みたが、うまうまいかなが
 った、当分種々の都合でやれまいと、農
 務局技課ジヨアレ、キンテリアル氏より回答
 がありました。(西議員談)

御 礼

去る六月十八日バストス支部対抗野
 球戦には御蔭を以て優勝の榮を獲得
 する事ができました。備えに皆様の
 御支援によるものと深く感謝いたし
 ます。尚当野球チームへ左の方々よ
 り金品の御寄贈がありました。ありが
 たく御礼申し上げます。
 奥田 ジュツカ 様
 前山 商店 様
 カラナ 三箱
 エルマテイヤ 三個
 まんじゅう 数百個
 ドーゼ 数キロ
 セルベージア 二箱
 井上源次郎 様
 金巻封宛
 石田良一様
 森 啓 様
 水角久 様
 上田保七様
 伊勢島義志 様
 萩原友四郎 様
 宮次徳重 様
 クロリア 又 区 青年 団

御 断 り

前号(第三五号)九頁下欄、追記のところに
 小社という字がありますが小林と見えると注
 意がありました。小林と見えては、念のため

御 礼

去る第二十四回支部対抗野球大会に
 賞品、賞品を御寄贈下さいました左
 記の方々に厚く御礼申し上げます。
 優勝 旗 (持廻り) 故上 田平吉 様
 優 勝 盃 代表 長尾 隆雄 様
 二 位 盃 ホスト バンブイランテ 様
 三 位 盃 橋本 蚕種製造場 様
 四 位 盃 横田 浅吉 様
 個人賞(複数回)
 古田 義孝 様
 前田 青人 様
 太郎 田衛 様
 黒川 三三雄 様
 バカル ホンボ 様
 早川 繁店 様
 上西 泰治 様
 谷田 部淳 様
 尚大会に御盡力下さった役員並に審判員各位の御協力
 を感謝いたします。御蔭を以て盛會程に本大会を終了し
 ましたことを致し上り厚く御礼申し上げます。
 主催者代表 殊青団長 西 徹

Como eu estava pasmado a olhar para ele, disse-me:

- Isto tem por unico fim fazer com que te não pareças com toda a outra gente. Estamos em França, vestir-te-ei de frances. Esta explicação, não bastando para me tirar o espanto continuou:

- O que somos nós? Artistas não é assim? condições que unicamente pelo seu aspecto devem provocar a curiosidade. Julgas que se fossemos logo para o meio da praça publica vestidos como burgueses ou aldeões obrigariamos as pessoas a vê-nos e a parar a roda de nós? Não é verdade? Aprende pois, que na vida a apparencia é ás vezes indispensavel. é triste, mas não podemos nada contra isso. A approvação de "Capi" dava a minha metamorfose foi-me duplamente agradável, porque, quando estava vestindo o meu novo fato, "Joli-Coeur" collocara-se diante de mim e imitara os meus movimentos exagerados. Terminei a minha toilette pusere as mãos nos quadris e deitando a cabeça para traz disse-me rindo dando gritinhos de troça.

- Agora, que está acabada a tua "toilette", disse-me Vitalis, depois de ter posto o chapéu, vamos começar a trabalhar, afim de dar a manhã, dia de mercado, uma grande representação na qual farás a tua estreia. Perguntai o que era fazer minha estreia, e Vitalis explicou-me que era apparecer pela primeira vez diante do publico representando uma comedia.

- Vamos de dar a manhã a nossa primeira representação e tu tens de a figurar. É pois necessario que eu te faça ensaiar o papel que te destino. Tu não expresseo de espanto e mostrou-me que não o comprehendia. Entendo por papel o que tu terás a fazer nessa representação. Se te trouxe comigo não é unicamente para te dar o prazer de passeares. Não sou bastante rico para isso. É para que trabalhes. O teu trabalho consistira em representar comedias com os meus cães e com "Joli-Coeur". Mas eu não sei representar! exclamei asustado.

- É exactamente por isso que te preciso ensaiar. Trazias bem que te devesse estudar que "Capi" sabe andar tão graciosamente nas duas patas trezeiras, nem tampouco por lhe aprazer que "Dolce" dança na corda. "Capi" aprendeu a conservar-se em pé nas patas e "Dolce" aprendeu tambem a dançar na corda; tiveram mesmo que trabalhar muito e durante muito tempo para adquirir estas prendas assim como aqueles que se tornam comicos habilidosos. Pois bem! tu tambem precisas para aprender os diversos papeis que has de representar com elles. Mãos á obra, pois Eu tinha nessa epoca ideias de todo primitivas sobre o trabalho. Julgava que para trabalhar era necessario cavar a terra, ou cortar uma arvore, ou talhar pedra, e não imaginava outra coisa.

- A peça que vamos representar, continuou Vitalis, tem por titulo "O criado do sr. Joli-Coeur" ou "Dos dois o mais estúpido não é o que julgam". Eis o enredo: O senhor "Joli-Coeur" teve até agora um criado com que está muito satisfeito, é "Capi". Mas, "Capi" vae se tornando velho; e por outro lado o sr. "Joli-Coeur" quer tomar um criado novo. "Capi" encarrega-se de lhe arranjar um. Mas, não ha de ser um cão que lhe ha de escolher para seu successor, há de ser um rapazinho, um camponez chamado Remigio. - Como eu?

- Não, como tu; mas tu mesmo. Chegas da tua aldeia para entrar no serviço de "Joli-Coeur".

- Mas comedias tem. Chegas portanto, e o senhor "Joli-Coeur" achas com cara de tolo.

- Isso não é muito agradável.

- Que te importas tu com isto, visto que é por brincadeira. Alias faze de conta que chegas deveras a casa de sujeito para ser criado, e que te chamam por exemplo, pôr a mesa. Aqui está justamente uma que ha de servir para a nossa representação. Anda, arranja essas coisas como devem ser. Nessa mesa havia pratos, um copo, uma faca, um garfo, uma toalha e um guardanapo. Enquanto eu fazia a mim mesmo esta pergunta, com os braços pendurados, inclinado para diante, com a boca aberta, sem saber por onde havia de começar, o meu mestre começou a dar palmas e a rir ás gargalhadas.

(continua).-

一死七通知 並に
會葬御礼

父 光助儀病氣療養中の処其の効を
去る六月二十七日午後一時十五分
七十三歳の天寿を終り、翌二十八日
午後三時自宅出棺、佛式を以て葬儀
を執行、バストス墓地に埋葬いたし
ました。此儀生前辱知各位に御通知
申上り、御厚誼を賜りましたこと
を深謝致します。

尚葬儀に際しましては遠路御多忙中
にも拘らず御會葬下され且つ又御町
重なる御香華を賜わり御厚情の程有
難く存上ります。実は一々参上御礼
申上り可き処暑儀乍ら紙上を以て厚
く御礼申上ります。

一九五六年六月三十日

カロリア区

母 石 田 フサ
妻 石 田 良一
友人代表 幸子

吉浦秀次郎
古田義松
溪五雄

各位

石田光助翁逝く

暫く病氣静養中の石田翁が六月二十七日
七十二歳で長逝された。氏は青年の頃
北米に遊学した後、海外移住組合員として
渡伯し昭和四年バストス・カロリア区に入
入植された。単身一人であつた。氏の
世話好きは有名なもので、道場を男女の縁
結ひ百件に余る程であつた。これからの楽
な身上を悔まうという時七くなられたの
は、氏にとつても御家族にとつてもバスト
スにとつても残念なこと、謹んで御厚福
を祈る次第である。

火災見舞御礼

去る六月廿二日午後私方妻室より火
火致しました。際は早速消火に御盡力
下さいましたので御蔭を以て任是は
類焼を免れました。又皆様より多大
の御見舞金御惠与下され誠にありが
く存じます。取敢ず紙上を借り厚く
御礼申上ります。

シヤーカー隣接地

佐藤守

今井銀一郎様 大倉重一様
吉村安次様 信太順治様
吉田多作様 信太藤吉様
本田正雄様 内馬場七郎様
石川忠吉様 梶家好子様
貝田信男様 富吉勲策様
指田要造様 菅野三郎様
小沢勇様 有馬重一様

Sabão
ALBATROZ
Lava Melhor



サボン
アルバトロズ
の品度が
証明します。バストス各商店にてお求め
下さい。

日本人の御家庭で
サボン アルバトロズ

を、お使いに
なりぬれば
ありません
それは？
？
？
？

サンジョン (焚火器) 祭

焚火祭 頃も踊るも 弾くもサンジョン
焚火祭 毛織を横取られ 大納言
焚火祭 薪もち寄る両隣 南天子
授け花火さるるが 嬉しサンジョン祭 赤青
サンジョン祭 夜空にがて火事のごと 失名
草焼いて焚火祭りの子供達
バストス 俳句大学々長
佐々木 南天子先生校園

第七回 バスト入植祭 祭典委員

一九五六年七月七日及八日

- 總裁 畑中 忠雄
 委員長 谷口 孝章
 副委員長 櫻 常孝
 總務 (長) 本田 正雄、重道、清
 渉外 上西 泰治、崎田 春一、前山 義雄
 特別会計 木村 久摩一、杉山 上西
 敬進元 (長) 柳 浦彦太郎、佐々木 高橋
 渉外 早川 高田、田中、小林
 文野
 演芸部 (長) 藤原 荒次郎、草野 悦山、水口
 のと目 慢係 西川 青生、島 本、道
 舞踊係 戸田 童話劇 藤原 又人
 舞台効果 本田 古谷
 舞台進行 湯井 板垣、福森、佐藤
 場内整理 坂本 真吾、菊池、八重樫
 早川 細江 及各区々長
 慰霊係 (長) 櫻 常孝、上西、佛教会 各区長
 敬老会 (長) 藤原 直輔、崎田、各区長
 芸演場準備 (長) 石橋 三雄、中央区役員、入植祭委員
 演芸場売店 係 連合青年団
 回暮大会 中島、棟迫
 将棋大会 石橋、加藤
 俳句大会 浦 樹
 生花展 示会 宮武 晴南
 下段へ

寫真展覧会 係 橋本 宮崎
 農産手芸展 係 連合青年団
 野球 係 郡体育会
 入植祭 行事

- 七月七日
 第一回 バスト不選抜野球大会 (前八時)
 中央コンパ
 2 農産手芸展 示会 (七、八、両日) 産業会館
 3 生花展 示会 (七、八、両日) ソロカバ大駅サロ
 4 寫真展覧会 (七、八、両日) 係
 5 中学生カトルシヤ
 6 余興 (七、八、両日午後七時より)
 流行歌
 童話劇
 農村劇 時代劇 中 央 男 子 青 年 団
 舞 踊 一 般 舞 踊 愛 好 家 連 中
 七月八日
 1 バスト不選抜対抗柔道大会 (中央道場十時)
 2 少年野球 (マシヤード対バストス)
 3 慰霊祭 十時より 若永氏二十回忌 奠地にて
 正午より 一線会館にて 法要 多数の方の 御参
 列を希望す
 4 敬老会 午後二時、余興及記念品あり
 5 俳句大会 正午より 圓組社
 6 回暮大会 八時より クルマ
 7 将棋大会 八時より クルマ
 8 リーアップ 開票 七月八日 午後九時 演舞場にて

キカイの据付と修理

- モトメ儿 修繕 (ジゼル・ガソリン・タンキ)
- 水揚機 ポンプ、ピストン式タービン式 据付及修理一功
- エンカナメント 一功

農業機械 (製粉機 其他キカイ一式) の修理 据付

△ シツチから御しらせがあれば 多少に拘らず出張いたします故

御遠慮なく御用命下さい

△ 新しい機械類御購入の場合御相談があれば何かと御忠言を提供いたします



機械類 据付 御用命承ります 山中 正 夫
 及 修理一功

バンネイランテ組合裏側

祝 バストス入植 祭

会 区 典 中

一九五六年
七月七日 及 八日

Restaurante
Ponto de
Rodovial

レストウランテ
ポント
ロドビアル
榎
幸

Hotel
Central

オテル
セントラル
榎
は
や
の

祝
バストス入植祭
榎
協
農一線會

ヒトリア
榎
農
場 Fazenda Enoki

Nossa Senhora
AV. TAMOIOS, 785 TUPÃ C. P. 146

Relogios Joias Oculos

時計 貴金属
おもとの
の節は
最も
信用
ある
ハツサ時計店
ハツサ時計店
ハツサ時計店



火あそび御用心

去る六月廿二日午後三時頃シヤカラ区隣接
地帯の佐藤守三さん方の養蚕室から失火、忽
ち二棟を全焼した。シヤカラ区から大勢が
けつけたが火の巡りが早くヤツと住居を
けつしたため、原因は五つになる坊や
が花火のまねをしたものがサツへと引火し
た。うい、今時は養蚕室も中々少
の金では出来ない、お互いに火の御用心

聖母婦人會より御辭解

去る六月二十三日よりケルメツセを
開催することについて皆様より金品
の御寄附をいただきまして誠に主権
者の都合によって延期になったさう
で御座います。いづれ開催の事とは
存じますが、それ迄私共に於て御禮
りすることにいたします。
右御諒解下さいますよう願上いたします
七月二日

聖母婦人會

御寄贈の皆様

ミシン修理師 芝伯明氏は

バストスの皆さん大変ご世話になるので、その御礼
心から来る入植祭へ寄附したいというので金巻封
函を社へ持てまうれたので、直ちに祭典委員会へ届
けたい

ジヤケツの落し主 二人あられる

別稿ジヤケツの落し主をさがしたところ偶然にもさ
か似ているのでせ落し主が二人でたれも二人とも本へ
ではないので目下照分中

入植祭特輯号は編輯者健康の都合で
出来が収めました(係)